

KDD インターネットテストシステム「KITS」、 IP 網統合評価ツール「STAGE」

インターネットによる各種通信サービスを提供するためには、インターネットの性能評価が重要な課題となる。そこで、1997年（平成9）、TCP通信、各種符号化方式により圧縮された映像通信などの各種トラフィックに対応するデータを発生させ、インターネットを介して通信を行い、スループット、データ廃棄率、遅延変動などを測定する「KITS」の開発を行った。本システムはソフトウェアベースで実現されているため、各種トラフィック発生に柔軟に対応することを特徴としている。さらに、本システムを高度化して98年に「STAGE」として完成させた。これらのシステムはKDD テラビットハイウェイ構想「KTH21」の性能評価などに活用された。

出典：KDD 社史